

芦屋町教育委員会会議録

令和8年第7回定例会

日 時 令和8年7月2日（木） 午前10時00分 ～ 午前11時05分

場 所 芦屋町役場3階 課長会議室

「出席委員」	委 員	長 戸 隆 弘
	委 員	井 上 弘 行
	委 員	森 山 真 奈 美
	委 員	佐 伯 慎 也
	教 育 長	三 桝 賢 二

「委員以外の出席者」	学校教育課長	木 本 拓 也
	生涯学習課長	水 摩 秀 徳

「書 記」	学校教育係長	原 田 聡 太
-------	--------	---------

「議事日程」

第1 会議録署名委員の指名

第2 教育長提出議案

第3 協議事項

○教育委員会訪問（小学校）を終えて

○教育委員会訪問（中学校）について

第4 報告・連絡

○令和8年度佐野市青少年交流事業の参加状況、出発式について

○令和8年度ハンズ・オン・キッズの参加状況について

○令和8年度リードぼらんていあキッズの参加状況について

○令和8年度小学生英語活動体験の参加状況について

○7月、8月の行事予定について

第5 その他

○令和7年度芦屋町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価報告書などの配布

「開会宣告」

教育長 ただいまから令和8年芦屋町教育委員会第7回定例会を開会します。

第 1 会議録署名委員の指名

教育長 本日の署名委員は、井上委員と森山委員にお願いします。

第 2 教育長提出議案

教育長 本日提出している議案はありません。

第 3 協議事項

○教育委員会訪問（小学校）を終えて

教育長 教育委員会訪問（小学校）を終えて

学校教育課長 本年度の小学校訪問につきましては、芦屋東小学校では北九州教育事務所との合同訪問を実施し、芦屋小学校及び山鹿小学校において授業参観、校務・教務運営に関する協議、並びに教職員とのグループワーク形式による意見交換会を行いました。

事務局での振り返りでは、授業参観に関する教育委員の皆さまの所感を共有する機会が設けられていなかったこと、また意見交換において教育委員の発言機会がやや少なかったのではないかと指摘がございました。

本日のご意見を踏まえ、訪問方法及び意見交換の進め方を整理し、学校側へ適切にフィードバックしたいと考えております。

教育委員 授業参観後の校務・教務運営の説明に時間を要したため、意見交換の時間が十分に確保できず、授業の所感や事業に関する意見を十分にお伝えできませんでした。また、教職員との意見交換会をグループワーク形式で行ったことで、全体の時間が圧縮された面もあったと感じております。

一方、総合的な学習の時間の公開は有意義であり、指導主事のまとめも分かりやすく参考になりました。タブレットを用いたグループワークでは操作に時間を要する場面があり、事前準備に教職員の負担が生じていないか気になるところです。

学校教育課長 学校側からは「話し合いの時間をしっかり確保したい」という意向がございました。そのため、付箋に書き出す作業など短時間で済む部分については事前に準備し、当日の協議時間を長く取れるよう工夫されていたと聞いております。

教育長 時間の使い方につきましては、どこかを削ればどこかが不足するため、限られた時間の中で十分な話し合いを行うことは容易ではないと感じております。他の委員の皆さまで、よりよい進め方についてお考えがあれば伺いたいと思います。

教育委員 給食試食については、量や栄養バランスは適切であり、全体として良好に

提供されていると感じました。一方で、児童から味に関する意見が寄せられていることから、さらなる満足度向上に向けた工夫の余地があると感じました。

授業については大きな課題は見られず、特に山鹿小学校では校内教育支援センターの活用により、生徒指導が着実に改善している様子がうかがえました。

先生方との意見交換会は、ていねいに準備されていましたが、協議が手法面に寄り、本質的な論点の共有が十分でなかった印象を受けました。指導主事によるまとめは要点が整理されており、協議の方向性を冒頭で示す形とすることで、より深い議論につながったのではないかと感じました。

また、今年度から午後の授業時間が40分となったことに加え、山鹿小学校では各学年2学級という構成上、1教室あたりの参観時間が2分程度となり、授業内容を十分に把握しにくい状況でした。低学年・高学年などで担当を分けるなど、参観時間を確保する工夫を講じることで、より丁寧に授業を参観できると思いました。

教育長

指導主事には特定の教室を重点的に参観していただきましたが、その分、ほかの学年の状況が把握しにくいとのご意見もございました。

授業案は事前に配布されておりますので、委員の皆さまには希望に応じて特定の学年・学級を重点的に参観することが可能であると考えております。私自身はできる限りすべての学級を参観したいと考えておりますが、「今年は私の学級にはどなたも来られませんでした」という状況が生じないような体制が必要であると感じております。

このため来年度は、全員が同様に参観する方法に加え、委員の希望を踏まえて特定の学級を重点的に参観できる柔軟な方法を併用しつつ、結果として全学級が確実に参観される仕組みを検討したいと考えております。

教育委員

掃除の様子を参観できたことは、非常によい機会となりました。こどもの自然な姿や学校としての姿勢がよく表れていると感じました。あいさつの声も大きくはっきりしており、よい印象を受けました。

一方、授業ではこども同士が互いの意見を聞く場面が少なく、教員と児童の二者間のやり取りにとどまっているように感じました。横のつながりが弱く、意見交換が深まりにくいと感じました。

また、意見交換会ではタブレット端末を用いた入力作業がうまくいかない場面があり、操作に時間を要し、話し合いが十分深まらなかった印象を受けました。

教育長

現行の学校訪問の形を数年続けておりますが、協議の時間が十分に取れていないのも事実です。内容を見直すにしても、どこを削り、どこに時間をかけるかが課題であると考えております。

教育委員

課題や授業の進め方で気になる学級があったものの、先生方が課題を理解し改善しようとする姿勢が見え、前向きな取り組みが進んでいると感じました。

	校務・教務運営の説明後に「質問はありますか」と言われた際、授業の感想を述べる場だと理解できず発言できませんでした。その後の意見交換会で初めて授業の感想を求められ、事前にどの先生と協議するか分かっていたら、より意識して授業を見られたと感じました。授業と協議の流れがもう少しつながる工夫があると内容が深まると思います。
教育長	協議前に学校側で集約した意見を共有していただき、分科会の割り振りと併せて事前資料として送付してもらうことが有効だと考えております。そうすれば、自分が参加する分科会の学年や内容を意識して授業を見ることができ、協議でより具体的な感想や意見を伝えられるはずです。
教育委員	校務・教務運営の説明は20分、質疑は30分ほどでしたが、説明が長く、全体の質疑時間が短く感じました。ただ、委員全員が5分ずつ発言すればそれだけで25分かかるため、時間配分の難しさも感じております。現行の意見交換会の形式では時間を取りすぎており、授業や校務・教務の協議に十分時間を回せていないと感じております。以前は先生方から直接意見を聞く時間がございましたが、グループワーク中心になってからはその機会がなくなり、先生方の本音が出にくくなっているように思います。そのため、意見交換会はもっと短時間でできる形にし、授業や学校運営について率直な意見を聞ける時間を別に設けるなど、形式を見直した方がよいと考えております。
教育長	半日の教育委員会訪問で全てを満足させることは難しいと感じております。毎回同じ先生が参加すると、質問内容も数年続けるうちに似たものになり、委員側の回答も同じ傾向になりがちです。
教育委員	教育委員と先生が話すテーマは毎年似た内容になりがちですので、参加する先生のメンバーを入れ替えるなど、交流の形を工夫する必要があると感じております。教育委員が学校を訪問する場をより有意義なものにするため、意見交換会の形式そのものを見直した方がよいと考えております。
教育委員	各学校で取り上げられたテーマは、それぞれの学校で切実な課題として考えていることではないかと思います。話し合うテーマと先生方が悩んでいることが合えばよいと感じます。
教育長	教育委員会訪問の場で指導主事がまとめる方法もありますが、それは学校が求める研修会の中で行う方が適しているとも感じております。学校が課題を挙げ、指導主事がテーマに沿って考え方を示し、研修会で話をし、その内容を受けて先生方が班に分かれて協議する。この流れの方が課題解決につながりやすいと考えております。
教育委員	学校が本当に切実に感じている問題点を、今回のテーマとして伝えていただけていたのか気になりました。深刻な課題をテーマにしているのであれば、事前に背景を伺っておきたかったと感じます。テーマだけ提示されても背景が分からず、理解しにくい場面がございました。
教育長	現在、小学校では若い教員が増え、経験の浅い教員が担任を受け持つケースが多くなっております。初任者が必ず担任となる運用もあり、若い教員

が学級経営を担う状況が広がっています。

最も大きな課題は学級づくりであり、生徒指導の視点から学級を安定させること、特に課題を抱える児童への対応は、いずれの学校においても大きな負担となっています。今回の訪問では、学校によって見え方に差はあったものの、複数の学校で一定数の児童への対応が学級の落ち着きに影響している様子が確認されました。

こうした学級づくりに関する悩みは、若い教員に共通する課題であると考えております。

教育委員 教員経験のない委員もおり、現場の先生方がどれほど切実に感じている問題なのか十分に把握できていない部分があります。背景を事前に共有していただければ協議に入りやすいと感じます。

教育委員 意見交換の場では、先生方の発言が取り組み紹介に寄りがちで、深い議論になりにくいと感じております。本当に困っていることを率直に出していただけるような場づくりが必要だと考えております。

教育長 今回のような専門的な内容は、本来校内研修で扱う方が適切であると感じております。教育委員会訪問で専門的テーマを扱う必要性は高くないと考えております。

そのうえで、教育委員会が学校を訪問する目的設定や形式の見直しが必要であると考えております。

教育委員 専門的な内容になりますと理解が追いつかず、意見を述べにくい場面がございます。意見を出しやすくなるような進め方やテーマ設定を工夫していただければ、より積極的に議論に参加できると感じております。

教育委員 私は元教員で学校側の視点に寄りがちですが、教職経験のない委員の存在は大きく、議論が広がると感じております。学級づくりの話でも、他業界の視点が入ることで議論が深まります。

教育委員 今回の各校のテーマは深く幅が狭い印象で、議論の範囲が限定されていたと感じます。

教育長 学校側がテーマを決めると担任の学級運営に寄り、組織運営の視点に広がりにくくなります。議論の幅を出すため、教育委員会側からテーマを提示する方法もあり得ると考えております。

来年度は協議会の形式を見直し、対面での意見交換も検討したいと考えております。今年度は現行の形で進めますが、来年度に向けて「校務・教務運営の説明後の協議会の構成」「意見交換会のテーマ設定」の2点が課題になると考えております。事務局で方向性を整理していただきたいと思っております。

学校教育課長 現時点で具体的な提案はございませんが、今回の協議で委員の皆さまが抱えておられた課題感が明らかになったと感じております。来年度に向けて、指導主事も交えてより適切な形を検討したいと考えております。

教育委員 校務・教務運営の説明資料が手元にあると理解しやすいですね。可能な範囲で資料提供をお願いしたいと思います。

教育長 承知いたしました。教育委員会としての取組は完璧ではなく、課題は常に残るものと考えております。来年度に向けてよりよい形を求めていきたいと思ひます。

○教育委員会訪問（中学校）について

教育長 教育委員会訪問（中学校）について

学校教育課長 芦屋中学校への教育委員会訪問につきまして、学校側および教育委員の皆さまのご都合を確認した結果、10月9日（金）午後に実施したいと考えております。当日の日程につきましては、現在学校側と調整中であり、決まり次第改めてご報告いたします。

教育長 ご意見やご質問がございましたらお願いいたします。特にご質問がなければ、この予定で進めたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

第4 報告・連絡

○令和8年度佐野市青少年交流事業の参加状況、出発式について

○令和8年度ハンズ・オン・キッズの参加状況について

○令和8年度リードぼらんていあキッズの参加状況について

教育長 令和8年度佐野市青少年交流事業の参加状況、出発式について、令和8年度ハンズ・オン・キッズの参加状況について、令和8年度リードぼらんていあキッズの参加状況については、一括して報告してください。

生涯学習課長 （令和8年度佐野市青少年交流事業の参加状況、出発式について、令和8年度ハンズ・オン・キッズの参加状況について、令和8年度リードぼらんていあキッズの参加状況についてについて説明※資料のとおり）

〔概要〕本年度の佐野市青少年交流事業は、芦屋町から佐野市へ訪問する2泊3日のプログラムとして、7月28日（火）から30日（木）に実施いたします。対象は小学校4年生から中学校2年生で、定員12人に対し19人の応募がございました。このため、山鹿小学校5年生および芦屋中学校2年生について抽選を行い、最終的に小学生7人、中学生5人の計12人が参加いたします。

7月18日（土）には出発式を行い、町長、町議会議長、教育長より激励の言葉をいただく予定です。教育委員の皆さまには案内をお配りしておりますので、ご都合がつく方はご出席いただければと存じます。

ハンズ・オン・キッズ事業につきましては、令和8年6月から令和9年3月まで全11回の体験活動を実施いたします。対象は小学校4年生から6年生で、定員32人に対し31人の応募があり、先週1回目の活動を終えたところです。

リードぼらんていあキッズ事業につきましては、令和8年6月から令和9

- 年2月まで全7回のプログラムとして実施いたします。対象は小学生で、定員25人に対し22人の応募がございました。
- 教育委員** 芦屋東小学校は、これらの事業に比較的多く参加しているにもかかわらず、今回は佐野市との交流事業のみ参加者が1名にとどまっています。他の事業では積極的に参加している児童が多いことを踏まえると、この点をどのように捉えておられますか。
- 生涯学習課長** 学校側との詳細な意見交換まではできておりませんが、参加費の負担があること、また夏休み期間中に日程が詰まっていることから、全日程への参加はハードルが高いというご意見をいくつかいただいております。こうした点が、今回はたまたま影響したのではないかと考えております。

○令和8年度小学生英語活動体験の参加状況について

- 教育長** 令和8年度小学生英語活動体験の参加状況について
- 学校教育課長** (令和8年度小学生英語活動体験の参加状況について説明※資料のとおり)
- [概要] 本年度の小学生英語活動体験は、7月24日(金)に北九州グローバルゲートウェイで実施いたします。対象は小学校5年生及び6年生で、定員30人に対し29人の応募がございました。3小学校から教諭が1名ずつ引率いたします。
- 今年度の参加者の中には、すでに英語検定5級以上を取得している児童が数名いることから、施設側と調整し、従来の初級者向けプログラムに加えて、やや難易度の高いプログラムにも挑戦してもらう予定としております。
- 教育委員** 難易度の高いプログラムを取り入れるとのことですが、具体的にはどのような形で実施される予定でしょうか。
- 学校教育課長** 英語検定取得者のみで班を編成し、難易度の高いプログラムに挑戦してもらう予定です。
- 教育長** 初めから難しいプログラムに挑戦することは、こどもたちにとって負担が大きいと思いますし、一定の英語力がある児童が初心者向けプログラムを行うと、物足りなさを感じる可能性があります。児童の英語力に応じた体験ができることは望ましいと考えております。

○7月、8月の行事予定について

- 教育長** 7月、8月の行事予定について
- 学校教育課長** (7月、8月の行事予定について説明 ※資料のとおり)
- 生涯学習課長** (7月、8月の行事予定について説明 ※資料のとおり)

第5 その他

○令和7年度芦屋町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価報告書などの配布

教育長 令和7年度芦屋町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価報告書などの配布

学校教育課長 令和7年度芦屋町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価報告書、並びに令和7年度芦屋町教育大綱推進プランの評価がまとまりましたので、配布いたします。
また、これらの評価報告書等につきまして、福岡教育大学教授より意見書をいただいておりますので、あわせてお配りしております。
本件につきましては、8月の総合教育会議における議題となりますので、内容のご確認をお願いいたします。

○令和8年度遠賀郡地方教育委員会連絡協議会教育委員研修会について

教育長 令和8年度遠賀郡地方教育委員会連絡協議会教育委員研修会について

学校教育課長 本年度の遠賀郡地方教育委員会連絡協議会教育委員研修会の案内が届きましたので、配布いたします。研修会は8月17日（月）午後3時から開催されます。
当日の出欠につきましては、次回の定例会の際に確認させていただきますので、よろしくお願いいたします。

「閉会宣告」

8月の定例会は、8月3日（月）午前9時から開催します。

9月の定例会は、9月3日（木）午前10時から開催します。

— 閉会宣告 午前11時05分 —

会議録署名人 教 育 委 員

教 育 委 員

学校教育課長